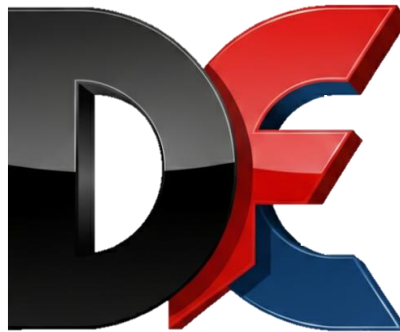


DFC PROJECT

DFC by Koa-DeFi

Koa-DeFi = Kudos, Ok Asset - 分散型金融プラットフォーム



発行者 : OMG WORLD FOUNDATION & Kodabs Bank



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



目次 (Table of Contents)

- I. 背景およびビジョン
- II. DFC の情報
- III. ビジネスモデル
- IV. リスク管理
- V. 技術アーキテクチャ
- VI. ロードマップ
- VII. 法規制の遵守
- VIII. 結論
- IX. 免責事項



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



I. 背景とビジョン

1. グローバルデジタル資産市場の背景

ブロックチェーンという分散型台帳技術（DLT：Distributed Ledger Technology）に基づく最初のデジタル資産であるビットコインが2009年1月に初めて採掘されて以来、デジタル資産は技術革新への期待と高い収益率によって世界的な投資熱潮を引き起こした。

「分散型台帳技術」とは、中央サーバーや特定機関が取引情報やデータを集中管理するのではなく、ネットワークに参加する複数のコンピュータ（ノード）が同じデータ（台帳）を複製・共有・同期しながら共同で管理および検証する技術であり、透明性・完全性・安全性を確保できる。データを一定量ずつ「ブロック」単位でまとめ、順次つなげていくブロックチェーンは分散型台帳の代表的な形式である。

2025年、グローバルデジタル資産市場の規模は報告書によって差はあるものの、仮想資産市場の時価総額は2025年9月基準で約4,000億ドルを突破した。また、デジタル資産管理（DAM）市場は2025年に56億5千万ドルから開始し、2030年には130億ドルに到達すると予想されている。サービスの種類によって市場規模は区分されるが、規制明確化と機関投資家の増加により市場は継続的に成長し、2030年までに1兆ドル以上に達する可能性がある。

特に、ドナルド・トランプ米大統領がビットコインを「デジタルゴールド」、ドル連動ステーブルコインを「デジタルドル」と宣言したことで、グローバル金融秩序は再び急激な転換期を迎えている。米国のデジタル資産政策の変化は、世界金融パラダイムの根本的再編を意味する。

トランプ大統領は以下の政策を推進している：ビットコインの戦略資産化、CBDCの全面禁止、米ドルと1:1で連動するドル基盤ステーブルコインの活性化、国際決済手段としての用途拡大

これに先立ちEUは2024年末から「MiCA」を施行しデジタル資産エコシステム構築を加速。アジア金融ハブである香港も2025年8月1日から政府主導の暗号資産規制整備と公式ライセンス制度を開始し、グローバルデジタル金融ハブを目指している。いずれも「デジタル・ガラパゴス」にならないための動きである。

2. DFC の運営構造

分散型金融（DeFi）は、ブロックチェーンと分散台帳技術を基盤としたデジタル資産産業における最も革新的な分野の一つです。DeFiの分散構造により、仲介機関を介さずにピア・ツー・ピア（P2P）取引や新たなビジネスモデルが可能になります。これにより、従来の銀行や政府による管理を受けず、国境を越えた取引が可能です。

DFCプロジェクトは、Koa-DeFiネットワーク内で価値革新を実現し、収益ファーミング・暗号担保レンディング・RWA（現実資産）・天然ルビーを担保とするステーブルコインなど、高付加価値ビジネスを創出することで、デジタル資産のブルーオーシャン市場を開拓することを目指しています。



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



DFCはWeb3ベースのDeFiアルゴリズムウォレットを通じ、グローバルなデジタル資産ベンチャーおよび提携事業を展開します。その中核事業と連携事業を持続的かつ高収益に運営するため、戦略的に多角的で革新的なポートフォリオを構築します。このプロジェクトは米国のDFC財団や韓国のマーケティング会社の利益のためではなく、参加メンバー全体の安定性と利益を最優先にしています。DFCプロジェクトは「誠実・信頼・会員の安全」を理念とし、安定した持続的利益の確保を追求します。この理念こそがDFCのアイデンティティを形成しています。

II. DFCの運営構造

1. DFCの定義

DFCとは“Decentralized Finance Coin”の略であり、Solanaブロックチェーンを基盤とするユーティリティコインである。ブロックチェーン上で作動するDFCはKoa-DeFiネットワークが内蔵されたWeb3ウォレット内で以下の用途として使用される：

コイン交換、利回り農業（Yield Farming）、暗号資産担保ローン、RWA（実物資産）交換、ステーブルコインを担保としたL/C代替決済。

DFCの広報マーケティング会社はミャンマー産天然ルビー原石を担保にしたNFT(RSCC)およびステーブルコインを発行予定であり、これらのコインをDFCと連動させ、将来的にグローバル決済コインとして活用する計画である。

2. Koa-DeFi

Koa-DeFiの「KOA」とは“Kudos, Ok Asset”の略で、「良質な資産を運用することがデジタル資産の名誉である」という意味を持つ。したがってKoa-DeFiとは、“良い資産を名誉（Koa）として運用する分散型金融（DeFi）プラットフォーム”を意味する。

Koa-DeFiはDFCを発行・運用するために開発されたWeb3ウォレットに内蔵されており、以下を実現する：利回り農業、暗号資産担保ローン、RWA（実物資産）交換、ステーブルコインを担保としたDFCの国際貿易L/C決済、各種コインの交換・決済機能

3. DFCのWeb3 Wallet

Web3ウォレットはユーザーがさまざまなブロックチェーンの分散型アプリケーション（dApp）と相互作用する際に、コインの保管・送金・受取を行う個人用暗号化ウォレットである。Trust Walletをモデルに構築され、ウォレットアドレスはハッシュ関数を用いた乱数として生成されるためユーザーの匿名性が保証される。

単なる保管用途だけではなく、ブロックチェーンと直接相互作用し、DeFi取引に署名し、コインの交換およびトランザクション処理が可能である。DFC Web3 Wallet内では以下の通貨を相互交換できる：DFC, KoPie, ETH, BNB, SOL, USDT, USDC さらに、Koa-DeFi上で利回り農業を行うことができる“宝の島（Treasure Island）”的な役割を担う。

4. DFCの必要性

- (1) Koa-DeFiプラットフォームの会員登録に必要な必須コイン
- (2) 高利回りの利回り農業を行うために必要な流動性プール預託コイン



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



- (3) 信用審査なしに DFC を担保として借入するために必要な流動性コイン
- (4) 流動性プールで RWA と交換し配当収益を得るための交換コイン
- (5) 国際貿易金融 L/C 代替のグローバル決済手段として必要なコイン

5. DFC 発行財団

DFC の発行財団は OMGWORLD FOUNDATION であり、米国テキサス州サンアントニオに所在する。

財団は Koa-DeFi システムを通じて以下の業務を遂行する：

- (1) DFC の発行および管理
- (2) ブロックチェーン基盤のグローバル為替取引・送金ライセンスを 2026 年末までに米国連邦・州政府から取得し DFC BANK を運営
- (3) その他、運営に付随する業務

6. DFC の発行情報

- (1) 総発行量：10,000,000,000 枚（100 億枚）
- (2) プロトコル：Solana ベースのユーティリティコイン
- (3) ユーティリティ用途：利回り農業、-担保ローン、-RWA 交換、-ステーブルコイン連動 L/C 決済
- (4) 発行価格：USD 0.01
- (5) 分配：- 発行財団 10%、- Kodabs Bank 10%、- 貢献者 10%、- R&D 5%、- 広報マーケティング会社 5%、- 販売 60%
- (6) 上場申請取引所：GOPAX（韓国）
- (7) 追加上場申請計画（2026 年上半期）：Binance、Coinbase、Crypto.com
- (8) ステーブルコイン保証計画：
2026 年下半年期、米国ライセンス取得と同時に実施

7. 広報マーケティング会社

広報マーケティング会社は Kodabs Bank であり、韓国ソウル市江南区に所在する。

同社は以下を業務として扱う：

- (1) グローバルコミュニティ構築
- (2) ネットワーキングを通じた広報・マーケティング管理
- (3) 関連政府の許可を取得し、小額決済プラットフォームおよびコイン担保ローンプラットフォームを運営
- (4) その他、運営に伴う業務

8. 分散型運営構造 (DAO)

- (1) DAO（分散型ガバナンス）の導入 DFC-GOV トークンを発行し、金利、政策、トークン発行量をホルダー投票によって決定する。
- (2) スマートコントラクト自動化 担保管理、利息支払い、貸付限度調整などをコードで自動化し、Certik・Quantstamp などによるセキュリティ監査を実施。
- (3) 運営コードの公開（オープンソース）主要スマートコントラクトコードを GitHub に公開し、外部検証を可能にする。



価値の未来はすでに動き出している。DeFiは世界の変革をリードする。



III. ビジネスモデル

1. Koa-DeFi イールドファーミングプロジェクト

1-1. イールドファーミングの概要

DFC プロジェクトの中心的な収益モデルは、Koa-DeFi プラットフォームの流動性プールを通じたイールドファーミングです。

プロセスは以下の通りです：

1. 流動性提供者（ユーザー）は、USDT または USDC などのステーブルコインを用いて DFC を購入します。
2. DFC 保有者は、保有する DFC を DFC Web3 ウォレットの DeFi 機能に預入します。
3. 預入金額に対して、日利 0.03% の利息を KoPie リワードトークンで受け取ります。

要するに、ユーザーが USDT または USDC で DFC を購入し、Koa-DeFi に預けることで、KoPie トークンによる報酬を得る仕組みです。

すべての預金は米ドルにペッグされたステーブルコイン（USDT、USDC）で運用されます。

1-2. イールドファーミングの利率

イールドファーミングの利率は、12 ヶ月・9 ヶ月・6 ヶ月・3 ヶ月単位で設定できます。

日次報酬率は預入 DFC 総額の 0.03% であり、報酬は KoPie トークンで配布されます。

長期預金では APR（年利）または APY（複利年利）で表示されます。

APR は単利、APY は利息を再投資する複利を意味します。DeFi の文脈では両者が併用される場合もあります。

1-3. KoPie リワードトークンの情報

項目	内容
定義	“KoPie” は「Kudos, Ok Pie」の略。「利益のパイを育て分配することは名誉である」という意味。
プロトコル	Solana ベースのユーティリティリワードトークン
ユーティリティ	イールドファーミングおよびインセンティブ型 DeFi 活動の報酬トークンとして使用
交換性	RWA・USDT・USDC・DFC との相互交換が可能
総供給量	10,000,000,000 枚（100 億）
発行価格	1 KoPie = USD \$1.00

2. DFC 担保レンディングプロジェクト

2-1. DeFi レンディングの概要

1. 分散型金融（DeFi）の主な目的は、従来銀行や証券会社が提供してきた金融サービスを、中央機関を介さずインターネット上で直接提供することにあります。

オープンプロトコルに基づき、誰でもアクセス可能で透明性と安全性が高い仕組みです。

2. 暗号担保レンディングは、ビットコインやイーサリアムのようなボラティリティの高い資産を担保として預け、過剰担保化されたステーブルコインを借りる方式です。

例えば、1 ドルのステーブルコインを借りるために 1.5 ドル分の ETH を担保に入れる（150%担保率）必要があります。



価値の未来はすでに動き出している。DeFiは世界の変革をリードする。



3. 比較として、米国の Maple Finance では、100%担保の「ブルーチップローン」（年利 6.62%）や高リスク資産対象の「ハイイールドローン」（最大 10.28%）などを提供しています。

2-2. DFC 担保レンディングサービス (CLP+)

1. Koa-DeFi に統合された**CLP+ (Cryptocurrency Lending Platform) **は、DFC や KoPie を担保として即時融資を行うシステムです。仲介者を介さず、スマートコントラクトにより完全自動化・分散化された形で運営されます。
2. 借り手は柔軟または固定金利を選択可能で、信用審査を経ずに複数のローンポジションを開設できます。各ポジションには固有の LTV（ローン対価比率）、マージンコール、清算基準が設定されます。
3. DFC や KoPie を担保に融資を申請すると、担保資産は CLP+にロックされ、貸付金は USDT で支払われます。満期は固定されず、LTV が 86%を超えると自動清算およびペナルティが発生します。

2-3. DFC 担保レンディングの利点

従来の金融ローンのような時間のかかる信用審査や書類手続きは不要で、担保条件を満たせば即時承認されます。貸し手・借り手双方がスマートコントラクトを通じて直接安全に取引できるため、スピードと安全性を兼ね備えています。さらに、DeFi 市場では年間 10%以上の高利回りを提供する場合も多く、従来の金融商品よりも高収益が期待できます。

3. RWA（実物資産）トークン化プロジェクト

3-1. RWA の概要

RWA (Real World Assets) とは、不動産・株式・債券・芸術品・宝石・天然資源などの実物資産をトークン化（オンチェーン化）することを指します。これにより、従来オフチェーンでしか取引できなかった資産をブロックチェーン上で安全・透明に取引可能とし、流動性を向上させます。

3-2. RWA のメカニズム

透明性と信頼性：ブロックチェーン上でトークン化された資産は改ざん不可能で、投資家は信頼性の高い取引が可能です。

コスト削減：仲介者を排除することで、手数料や時間的コストを大幅に削減します。

流動性の創出：流通性の低い資産でもトークン化により取引可能となり、新たな投資機会を提供します。

主な資産カテゴリ

不動産：所有権・賃貸権をトークン化し、小口投資を実現

芸術品・コレクション：分割所有を可能にし、リテール投資家にも開放

証券・金融商品：資金調達を効率化

知的財産 (IP)：音楽・映画・ソフトウェアなどの権利をトークン化し、クリエイター支援を促進

3-3. DFC の RWA 発行・取引計画

1. 芸術品 RWA プロジェクト：取得済、DFC との交換準備完了
2. 海洋埋立石鉱山 RWA プロジェクト（釜山加徳島）：採掘完了、トークン化準備中



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



3. 不動産 RWA プロジェクト：評価進行中、DFC 交換予定 → すべての RWA トークンは CLP+プラットフォーム上で発行・取引され、透明性と拡張性を確保します。

4. 貿易金融 L/C 代替コイン決済

4-1. L/C（信用状）の概念

国際貿易における L/C とは、銀行が輸入者の代わりに輸出者への支払いを保証する条件付支払約束書です。これにより貿易リスクを軽減し、資金調達にも利用されます。

4-2. L/C 代替コイン（ステーブルコイン）

ステーブルコインは、法定通貨や金などの実物資産に 1:1 でペッグされた価値安定型暗号資産です。USDT（Tether）や USDC（Circle）はその代表例で、国際送金・貿易決済に広く活用されています。

主な特徴：

1. 価格安定性（Stable Value）
2. 資産ペッグ（1:1）
3. 仮想通貨市場の基軸通貨的役割
4. 迅速な国際送金（低手数料）
5. 民間発行（CBDC とは異なる）

4-3. 宝石担保ステーブルコインの概念

特徴： 宝石担保ステーブルコインとは、実際の宝石を担保として発行される暗号通貨であり、金担保型ステーブルコインと同様に、担保資産である宝石の市場価格に価値が連動します。担保資産：実物の宝石（ルビーなど） 価値安定性：金と同様、宝石の価格変動に基づいてコイン価値が決定され、相対的に安定した価値を保つ 新しい投資・決済手段：実物資産に裏付けられた新たなデジタル通貨として、投資・国際送金・貿易決済に利用可能

リスク要因

- A. 発行者の透明性：発行体の財務健全性と信頼性が最も重要。透明な管理が必要。
- B. 価格変動：宝石価格に連動するため、市場の需給によって価値が変動。
- C. 流動性・償還性：宝石との交換が難しい場合、流動性不足を引き起こす可能性。
- D. 安定性懸念：流通規模・償還メカニズムの不透明性は、価値安定性を損なう要因となる。

展望

1. 発行と流通：価格変動・発行者の信頼性・規制環境・システム安定性が成功の鍵。
2. 普及条件：明確な法規制、透明な発行・管理、宝石現物への容易な償還性。
3. 将来性：技術進化と規制整備により、宝石担保ステーブルコインは有力な新市場を形成する可能性がある。



価値の未来はすでに動き出している。DeFiは世界の変革をリードする。



4-4. DFC の担保資産「天然ルビー」について

(1) ルビーの価値動向

天然ルビーの価格は過去数十年間にわたり上昇傾向にあり、希少な高品質原石への需要は投資・収集市場で高まっています。

(2) 価値上昇の要因

- A. 需要増加：特にアジア太平洋地域（中国など）で富裕層の宝石需要が拡大。
- B. 供給制約：高品質ルビーは希少であり、供給不足が続く。
- C. 投資価値の高さ：未処理天然原石は年々価値が上昇し、長期投資対象として魅力的。
- D. オークション実績：例として、2023 年のサザビーズでは 55.22 カラットの原石「Estrela de FURA」が 3,000 万ドル超で落札された。

(3) 評価基準（ルビーの 6C）

- A. Color（色）：最も重要。最高級は「ピジョン・ブラッド（鳩の血色）」と呼ばれる純赤。
- B. Clarity（透明度）：内包物が少ないほど価値が高い。
- C. Cut（カット）：色と輝きを最大化する精密カットが価値を左右。
- D. Carat（重量）：サイズが大きいほど指数関数的に価値上昇。
- E. Origin（産地）：ミャンマー・モゴック産が最上級とされる。
- F. Treatment（処理）：未処理ルビーは処理石より大幅に高価。

(4) 市場への影響

- A. 合成ルビー：外観は似ていても、天然石の希少価値は維持される。
- B. 供給源の多様化：ミャンマーに加えモザンビークなど新鉱山も登場しているが、最高級評価は依然としてミャンマー産が中心。

4-5. DFC 米国ステーブルコイン発行プロジェクト

ミャンマー産天然ルビー原石（Pigeon Blood）を担保とするコインは、ブロックチェーン技術を活用し、宝石を担保資産として米国で発行される **ステーブルコイン** を意味する。韓国 Kodabs Bank は、ミャンマー産天然ルビー原石（香港鑑定額 USD 6,000,000,000、韓国ウォン約 8 兆 6 千億ウォン）の所有者であり、英国ロンドン市民権を持つ事業家 キム・ミスン 氏と 韓・英共同で「天然ルビー原石基盤ステーブルコイン」および NFT を発行する プロジェクト契約を締結した。

本プロジェクトは米国政府の発行ライセンスを取得した後、米国でステーブルコインを発行し、韓国で NFT を発行する計画である。ステーブルコインが発行されれば、DFC と保証連動させ、**グローバル決済コイン**として活用する予定である。

(1) 発行法人：韓・英・米合弁による米国法人（仮称 PB Bank）

※ PB Bank：ルビー原石担保型ステーブルコインの発行法人

(2) 発行基盤：ミャンマー産天然ルビー原石を担保とする保証型ステーブルコイン

(3) ステーブルコイン名称：USDR（USD + Ruby）〔仮称〕

(4) ルビー原石の保管場所：スイス UBS 銀行の金庫



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



- (5) 香港鑑定額：USD 6,000,000,000 (JPY 8,400 億円)
- (6) 発行国：米国連邦政府および州政府ライセンスを申請予定
- (7) 主要用途：
 - 国際貿易金融 L/C 代替決済
 - RWA (実物資産トークン化) 運用
 - コイン担保ローン
- (8) ルビー原石の特性：
 - 産地：ミャンマー 世界最大級の希少価値 Pigeon's Blood (ピジョンズブラッド) グレード
 - 評価基準：1 カラット USD 80,000 を適用 (最高品質は USD 100,000 以上)
 - 1 USD = 140 JPY の換算基準適用


- ルビー原石 1 : 12,360g (12.36kg) = 61,800 カラット = USD 4,944,000,000 /

※ 評価報告書

League of Jewelry Dealers of Asia The Jewelry Valuation Committee
亞洲珠寶聯合會珠寶評估委員會

評估標的物
Evaluation subject

紅寶石原石
Natural Ruby



規格 (Size): 215 x 243 x 124 mm
重量 (Weight): 12.36 kg

COPY

亞洲寶石學院及鑑定所有限公司
ASIAN GEMMOLOGICAL INSTITUTE
AND LABORATORY LIMITED

7/F, No. 10, Look Road, Tuen Mun, New Territories, Kowloon, Hong Kong.
Tel: (+852) 2183 299-299 (+852) 264 7330 Email: agil@gwiget.com Website: www.agil.com.hk

鑑定報告書
GEM IDENTIFICATION REPORT

To Cyrus International Hong Kong Co., Ltd.

No. : 46408 46408
Date : 35th February 2008

寶石基本資料 Description of the test stone		儀器鑑定方法 (with mark)	
數量 Quantity	: 1	儀器 Instrument	: AGIL Refractometer
形狀 Shape	: 不規則 Irregular	儀器 Instrument	: AGIL Spectroscope
表面 Surface	: 粗糙 Rough stone	儀器 Instrument	: Chelms Colout Filter
顏色 Colour	: 深紅 Deep red	儀器 Instrument	: AGIL Eetnascopie
緊急度 Emergency	: 緊急 Urgent	儀器 Instrument	: Stereoscopic Microscope
重量 (公克) Weight (g)	: 12.35 kg		
尺寸 (毫米) Size (mm)	: 215 x 243 x 124		

備註 Comments

Refracton Index is not measurable
Beath spectrometer Armundrights
Hilby specture Pyramint
The cops Filter Electrode
UV Long Wave Red
UV Short Wave Mag light
Indicants True nrostrate
Raman spectrum 不確定鑑定結果

Origin determination isobrotranscemp respected
Dite to sufficient needed for nou, the origin is not determinable or cannot be labelled.

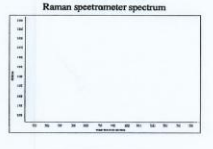
五記制圖：五記上寶石 (附五)
Conclusion: NATURAL RUBY (CORUNDUM)

ORIGINAL Report No. 46408


Tested by 周建章

周建章 Dominic Mok, M.Sc., F.G.A., D.G.A., D.G.M.
General Manager/Consultant/Gemologist

NOTICE: IMPORTANT NOTES ON REVERSE



Color photo shows the shape of red stone only.
True color polishes next page.



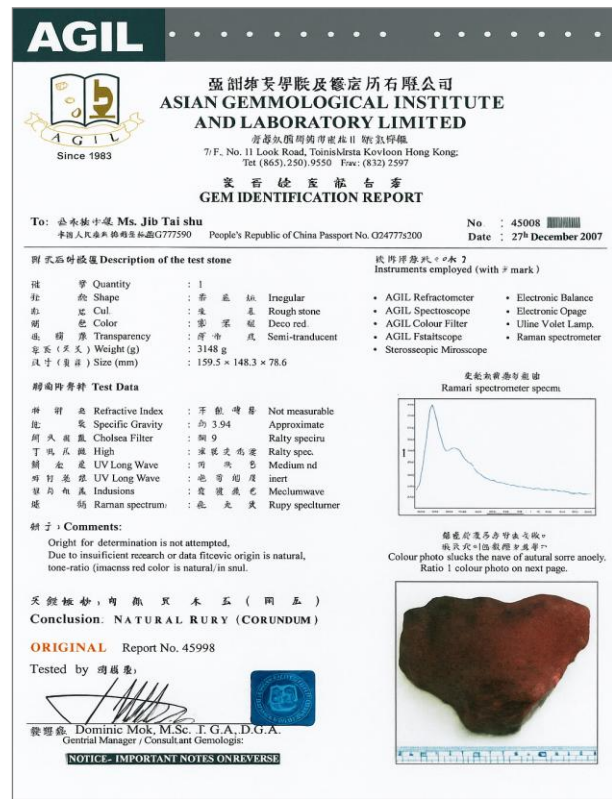
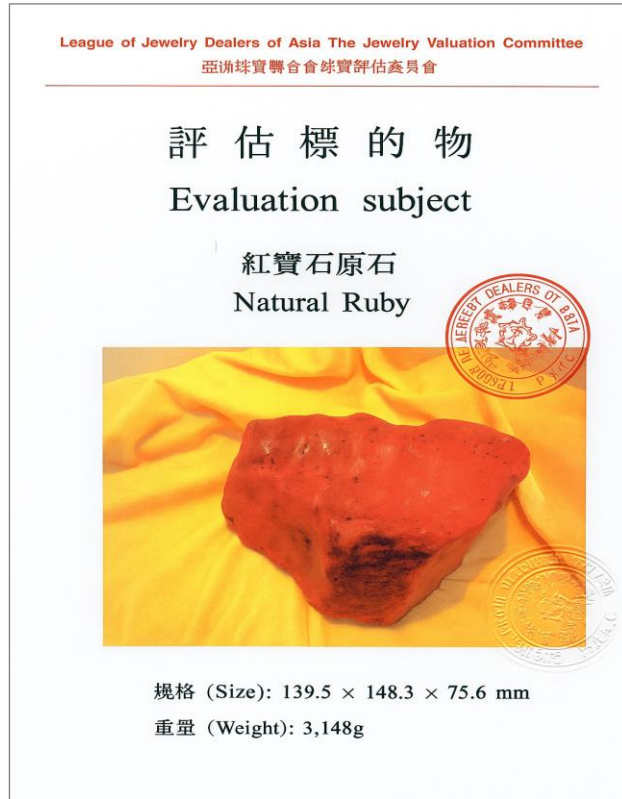


価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



- ルビー原石 2: 3,148g = 15,740 Carat = USD 1,259,200,000 / 1,762 億 8,800 万円

※ 評価報告書



- 合計 15,508g = 合計 77,540 カラット = 合計 USD 6,203,200,000 / 8,684 億円

※ 保管銀行：15 ページを参照。

ルビー原石に関するスイス UBS 銀行での保管記録を、ブロックチェーンのハッシュ値として公開する。

(9) 会計監査および保管の透明性

ステーブルコインを発行する場合、PwC（プライスウォーターハウスクーパース）会計法人を選任し、年間資産監査報告書を発行する。

4-6. USDR の運用方式

(1) ルビー原石（3 点）の鑑定および評価：香港の専門鑑定機関が宝石の品質と希少性を評価し、その正確な価値を算定する。（完了）

(2) ルビー原石アート作品（Rubinus Sanguine Christi Condensatus）のトークン化：評価されたルビー原石アート作品の情報をブロックチェーンに記録し、その情報を含む NFT を発行する。この RSCC（NFT）は、ルビー原石アート作品の「共有持分権」を示すデジタル証書として機能する。（2025 年 11 月に発行し、Upbit NFT・OpenSea に登録予定）



価値の未来はすでに動き出している。DeFiは世界の変革をリードする。



(3) 暗号通貨の発行：ルビー原石（1・2）は Bank of America に担保提供され、その保証を基盤としてステーブルコイン専用トークンを発行する。このコインは宝石の価値に基づくため、一般的な暗号通貨より価格変動が小さい。（2026 年頃、米連邦政府および州政府のライセンス取得後に発行予定）

(4) 取引および活用：発行されたコインは Koa-DeFi 上で取引されるほか、貸付サービスの担保として活用することができ、また国際貿易金融の L/C（信用状）代替決済コインとして使用できる。

これにより、宝石所有者は実物を売却せずに資金を確保できる。

(5) ルビー原石の償還：コイン保有者がルビー原石の共有持分権の売却を希望する場合、一定条件を満たした後に発行会社はその持分を買い取り、トークンを焼却する。

5. その他の連動決済プロジェクト

(1) 発行主体：Kodabs Bank（韓国）

(2) NFT 名称：RSCC (Rubinus Sanguine Christi Condensatus),

「ラテン語で『キリストの尊い御血によって凝縮されたルビー』という意味です。」

※ ルビー重量：2,245.7g、11,228.5 カラット 評価額：1 カラットあたり USD 80,000、総額 約 USD 9.29 億（約 1,300 億 6,000 万円）

(3) 発行価格：1 USD = 0.000012 カラット（ルビー換算）で 1:1 マッチング

※ 1 枚の JTB は、1 USD 相当の 0.000012 カラットのルビー保証により 1:1 で対応する。

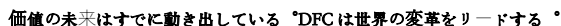
(4) デジタルマーケットプレイス：Upbit NFT および OpenSea に上場


※ デジタルマーケットにおけるオークションを通じて 高付加価値を創出する。

(5) ルビーアート作品 RSCC (Rubinus Sanguine Christi Condensatus) 情報




（詳細は次のセクションで提供予定）

(6) ルビー原石に関するスイス UBS 銀行での保管記録を、ブロックチェーンのハッシュ値として公開する。



检 验 报 告			
No. WZ2003033		共 4 页 第 3 页	
检品名称	原料	委托单位	
检品番号	案件	受 托 者	藤东明
检验申明	检验日期 2003. 3.21		
检定标识	2003. 3.21	检验标准	云南地矿弹药检测中心检测度
检验要求	质重鉴定	检测机构	GB/T 16552-1996 《质重岩石 GB/T 16555-1996 《质重页岩》
检 验 要 求			
审 核	 WZ2003033		
首查: 本田 申收: 杨存 主检: 宋克丰			

※ RSCC 保管銀行情報

 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> UBS <small>UNIVERSAL BANKS</small> </div>	<div style="text-align: right;"> Banking relationship 0243 574209 </div> <hr style="border: 0.5px solid black; margin-top: 5px;"/>
<p>I/We rent the above safe-deposit box from UBS in 1003 Lausanne</p>	
<p>I/We have taken note of the above conditions and agree to them</p>	
<p><u>Vélessay, le 10.09.2018</u></p> <p><small>Place/Date</small></p>	<div style="text-align: right;">  <hr style="border: 0.5px solid black; margin-top: -5px;"/> Kwang Eun </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <hr style="border: 0.5px solid black; margin-top: -5px;"/> Kim Mi Soon </div>

<p>For internal bank use only</p>									
<p>Opening of new business <small>endicht@bcr.ch, odr@puade.ch</small></p> <p>Opening of additional business relationship within BCCH</p>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> by correspondence</td> <td><input type="checkbox"/> in a personeng meeting</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> done</td> <td><input type="checkbox"/> in the period of Decagreson</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> by corpondence</td> <td><input type="checkbox"/> in a peremal meeking</td> </tr> <tr> <td colspan="2">FRJWSW SUP</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> by correspondence	<input type="checkbox"/> in a personeng meeting	<input type="checkbox"/> done	<input type="checkbox"/> in the period of Decagreson	<input type="checkbox"/> by corpondence	<input type="checkbox"/> in a peremal meeking	FRJWSW SUP	
<input type="checkbox"/> by correspondence	<input type="checkbox"/> in a personeng meeting								
<input type="checkbox"/> done	<input type="checkbox"/> in the period of Decagreson								
<input type="checkbox"/> by corpondence	<input type="checkbox"/> in a peremal meeking								
FRJWSW SUP									
<p>For internal bank use only</p>									
	<p>Customer Adviser's signature</p>								

60331 E: V7 001 15.06.2015
10.09.2018
Page 272



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



2). 香港ギャラリー・オークションハウスプロジェクトの出資および連動計画

3). 日韓共同 e-Sports 競馬プロジェクトの出資および連動計画

4). ALAI グローバルチェーン病院および医療費決済プロジェクト計画 発行財団
OMG WORLD FOUNDATION 傘下の「ALAI-American Laser & Aesthetics Institute」
国際フランチャイズ病院ネットワークと連携し、医療費の決済手段として活用する。

IV. リスク管理

革新ばかりに執着し、本来備えるべき安全装置を軽視してはならない。DFC は Koa-DeFi がもたらすと期待される肯定的な効果を認めつつも、同時に潜在的なリスクの存在を否定しない。

そのため、潜在的な副作用に対する懸念を考慮し、技術の信頼性を十分に検証しながら、革新と信頼性が両立する方向で 制度的な安全装置を構築している。

Koa-DeFi は、こうしたリスクを最小化するための対策として BNB Chain を基盤とした DeFi で構築されている。BNB Chain の安全性および安定化戦略を基盤とし、市場の変動性や技術的リスクを可能な限り抑え、革新と信頼の調和を実現できるよう設計されている。

V. 技術アーキテクチャ

Koa-DeFi は Web3 Wallet に内蔵された BNB Chain を基盤として構築されている。

DeFi の基本はスマートコントラクトに基づいており、Web3 Wallet はグローバルユーザーに親和性の高い Trust Wallet と Web3 を融合して設計されているため、技術アーキテクチャは BNB Chain と Web3 の技術構造を参照している。

1) BN BNB Chain の 3 つの構成要素（チェーン）

B Smart Chain (BSC)：スマートコントラクト機能と DApp（分散型アプリケーション）をサポートする メイン Layer 1。

2) opBNB: BSC 上に構築された Layer 2（スケーリング）ソリューションで、より高い処理能力と低い手数料を目標としている。

3) BNB Greenfield: ブロックチェーン基盤の 分散型ストレージインフラであり、データ保存・管理および Web3 アプリケーション向けのレイヤー。また、このエコシステムの中には ネイティブトークン BNB があり、取引手数料、ガバナンス参加、ステーキングなどに利用される。

エコシステムの活用事例および主要アプリケーション

・DeFi（分散型金融）

代表的な DEX（分散型取引所）である PancakeSwap をはじめ、多様な金融プロトコルが BNB Chain 上で活発に運用されている。



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



- ・ NFT & GameFi: 高速処理と低コストという特徴により、NFT マーケットプレイスやブロックチェーンゲームが 比較的低い参入障壁で展開されている。
- ・ データ保存および Web3 インフラ: BNB Greenfield を通じ、ユーザーはデータをブロックチェーン上に 保存・活用する選択肢を得ることができる。
- ・ ステータスおよびガバナンス参加: BNB トークンをステーキングすることでネットワークのセキュリティ向上に寄与でき、ガバナンス投票にも参加することが可能である。

VI. ロードマップ

2025 年 第 4 四半期 (Q4)

- ・ Koa-DeFi 運用開始
- ・ GOPAX (韓国) への上場申請
- ・ ステータスコイン発行に向けた 天然ルビー原石基盤 JTB(NFT) の発行および Upbit NFT・OpenSea への登録
- ・ 韓国・釜山 伽耶大空港 (加徳島) 海洋埋立石鉱山 RWA 発行のため、米国認可当局へ申請
- ・ Kodabs Bank のコイン担保ローンプラットフォーム (CLP+) 制作完了
- ・ 韓英米共同の米国法人 PB 設立完了

2026 年 第 1 四半期 (Q1)

- ・ CLP+ オープン
- ・ DeFi 利回り農業 (Yield Farming) 開始
- ・ Binance、Coinbase、Crypto.com への上場申請
- ・ RSCC(NFT) 取引を通じた韓国 NPL 不動産の取得および RWA 発行

2026 年 第 2 四半期 (Q2)

- ・ 韓日共同 e-Sports 競馬プラットフォームの開発着手
- ・ 美術品 NFT の発行
米国 DFC BANK の 連邦ライセンス MSB (Money Services Business) ,
テキサス州ライセンス MTL (Money Transmitter License) の取得予定
- ・ ルビー原石 (香港鑑定額 USD 6,000,000,000) を Bank of America
に担保提供し、米国ステータスコイン (USDR) 申請

2026 年 第 3 四半期 (Q3)

- ・ Binance・Coinbase・Crypto.com 上場予定
- ・ 香港ギャラリーおよびオークションハウス開設計画
- ・ 韓国・米国・英国・ミャンマーの債券 RWA 発行



価値の未来はすでに動き出している。DFCは世界の変革をリードする。



2026 年 第 4 四半期 (Q4)

- グローバル DAO エコシステム完成
- 米国 PB BANK オープンおよびグローバル・コインバンクサービス開始
- 米国ステーブルコイン (USDR) 発行完了見込み

VII. 法令遵守 (コンプライアンス)

DFC プロジェクトは、国際的な金融規制基準に厳格に準拠し、KYC (本人確認) および AML (マネーロンダリング防止) 対策を完全実施します。すべての事業活動は、各国の法的枠組みに基づき構築され、とくに香港のステーブルコインライセンス制度を活用して、合法性と制度的信頼性を確保しています。

また、FATF (金融活動作業部会) による国際 AML/CTF (テロ資金供与防止) 基準、および関連国のデジタル資産法規に準拠し、透明性・説明責任・トレーサビリティを伴う金融エコシステムを維持します。

VIII. 結論

私たちは今、デジタル資産が世界金融のパラダイムを再構築する歴史的転換期に立っています。この変化を見逃す者はデジタル経済時代の波に取り残される一方で、これを理解し、共に進化する者は未来の繁栄を掴むことができるでしょう。DFC プロジェクトは、イノベーション・成長・公正な利益分配を推進し、全てのメンバーが協力しながら、グローバルデジタル資産繁栄の新時代を共に築くことを目指します。

IX. 免責事項 (ディスクレマー)

本ホワイトペーパーは、DFC および Koa-DeFi の理解を目的として作成されたものであり、

いかなる投資の勧誘・提案・募集を意図するものではありません。DFC 財団およびマーケティング会社は、本書の内容を参考に参加するユーザーに対して、投資助言・保証・責任を負うものではありません。参加により発生する全ての利益および損失は参加者自身の責任となります。

また、第三者の推奨や誘因によって DFC プロジェクトに参加した場合であっても、財団およびマーケティング会社は一切の法的義務・責任を負いません。

ありがとうございます。

発行者: OMG WORLD FOUNDATION & Kodabs Bank